



わたしたちが暮らしていく上で大切な役割を担う「木」という素材
そんな大切な素材を扱うメーカーとして、
「木」に触れてもらい、その良さを感じてもらえたら
そんな思いから、この端材ワークショップ
「アニマルカリモク」がはじまりました。

アニマルカリモク



カリモクの製造過程で出てくる様々なかたちの「端材」を活用して動物をつくります。



木や森林への関心

アニマルカリモクは、木という素材を見て・触って・聞いて、その素晴らしさを感じることができます。ワークショップを通して、人と木や森林、自然との関わりを考えられる豊かな心を育みます。

想像力と創造力

Imagination & creativity

様々な形の端材を自由に使うことで想像力(イマジネーション)と創造力(クリエイティビティー)が引き出されます。楽しく個性豊かな作品が次々と生まれています。



こどもからおとなまで

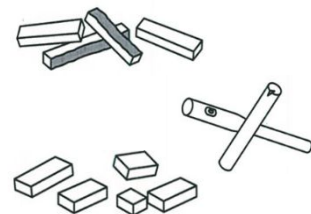
のこぎりや釘などは一切使用しないので安全性が高く、ちいさなこどもからおとなまで、誰もが夢中になり楽しむことができます。幅広い世代から共感が得られる社会性をもった取り組みです。

宝物

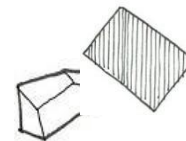
アニマルカリモクの体験と、木材の温かみのある作品は宝物となり記憶に残ります。



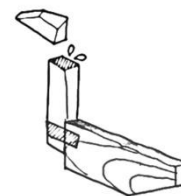
つくり方(作成時間 約60分)



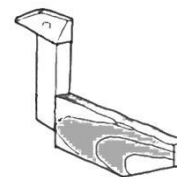
色々な端材の
中から材料をえ
らび



サンドペーパーでこ
すって角やささくれを
取ってから



ボンドを塗って
テープで仮固定



乾いたら、お好みで
色をつけて完成



実施履歴

2018年12月～2022年5月現在(抜粋・順不同)

日本木工機械展「ウッドワンダーランド 2019」

IKEBUKURO LIVING LOOP 2019

愛知県 東浦イオンモール様

無印良品 名古屋名鉄百貨店様

無印良品 マルエイガレリア店様

POSTALCO京橋様「Cat Market」

愛知トヨタ オートタウンキッズパーク様

愛知スズキ様(高辻店/高針原店)

ナゴヤハウジングセンター様

大ナゴヤツアーズ様

愛知県 豊田市 ウッドトイカーニバル 2019

愛知県 東浦町立北部中学校様

愛知県 東海市平洲小学校様「子ども教室」

愛知県 岡崎市六ツ美中部小学校様「おやゼミ」

愛知県 某保育園様

カリモクショールーム(本社/関東/神戸/関西)

カリモク60(名古屋ラシック/ららぽーと豊洲)

カリモク春祭り

岐阜カリモク/岐阜キャビネット組合行事

カリモク新入社員研修

等

実施日数 108日

参加組数 1,714組

参加人数 3,727名

参加いただいたみなさまからは、「子どもがこんなに集中しているのは見たことがない」「この子(1才)に体験させたいので続けてくださいね」など本当に多くの「いいね!」の声をいただいています。子供達が作品を大切に持ち帰る姿や子供よりも夢中になっている大人の姿がとても印象的です。また主催者様からも、「こんなに色々な形の端材は見たことがない」「私もやりたい」など高い評価をいただいています。

端材収集へのこだわり

アニマルカリモクの最大の魅力はバリエーション豊かな端材です。多種多様な端材を収集するため、国内8つの工場の様々な製造工程から出る端材を工場スタッフの協力により収集しています。

カリモクで使用している樹種は広葉樹が主体で、北海道／東北のナラ、北米産のウォールナット／ブラックチェリー、ヨーロッパのブナ、マレーシアで植林されているラバートリーなどです。針葉樹では国産ヒノキも使用した製品もあります。

道具類へのこだわり

アニマルカリモクで使用する道具は Reduce(リデュース) Reuse(リユース) Recycle(リサイクル) に努めています。

すべてのステーキホルダーと

アニマルカリモクの活動を通して、参加者はもちろん、主催者様からカリモクの従業員まで、すべてのステーキホルダーと共に、楽しく木の良さを体感し共感することのすばらしさを感じています。今後も共感の輪が少しでも広がるように、この活動が続けていきたいと思ひます。



- ① ボンドを塗る時に使うヘラは、突板の端材を活用しています。
- ② ボンドの受け皿は、乾いたボンドを簡単に剥がせて何度も使用できる化粧板の端材を活用しています。
- ③④ 開発/試作で使用した材料の端材を活用しました。
- ⑤ 社内の自動販売機の飲料カートンを再利用しています。フタを折り返して設置すれば、見た目も無地でスッキリします。
- ⑥ 製品でも使用されている国産針葉樹合板にて作成しました。

